

## 北海道の石

みなさんは「北海道の石」をご存知でしょうか？北海道の木がエゾマツ、北海道の花がハマナスであることはよくご存知かと思いますが、石については馴染みないかもしれません。それもそのはずです。今年の5月10日に日本地質学会が全国の47都道府県の石を選定したばかりです。各都道府県に特徴的に産出する、あるいは発見された岩石、鉱物、化石が選定されました。

北海道の石は、岩石に「かんらん岩」、鉱物に「砂白金」、化石に「アンモナイト」が選ばれました。このうち、かんらん岩は地下およそ70kmの上部マントルで形成された岩石です。日高地方の様似町のアポイ岳では、地球深部で形成された石が地表で見られ、世界的にもたいへん珍しく、世界ジオパークに認定されています。

しかし、かんらん岩は水と反応すると、蛇紋岩となります。蛇紋岩は風化しやすく、脆くて、崩れやすい性質を有しています。特にトンネル工事では、蛇紋岩は地山の押し出しや盤膨れを生じ、切羽の崩壊や断面の変形をもたらすことがあり、建設工事では厄介な存在です。

そこで防災地質チームでは、先進ボーリングによるトンネル地山評価に関する研究を行っています。ボーリングコアの鉱物や岩石を化学的に分析することにより、地山の変状を確実に予測できるようになる日も遠くないかもしれません。

(防災地質チーム 上席研究員 倉橋 稔幸)

\* \* \* \*

表紙左上記号 ISSN 2432-2652の説明

国際的なコード番号である ISSN (International Standard Serial Number : 国際標準逐次刊行物番号)は、ISSN ネットワークが管理する、逐次刊行物を識別するための固有の番号です。この番号は国立国会図書館 ISSN 日本センターから付与されたものです。